



【マルチメディア文化論】

— ブロードバンドと電子メール —

2007年度 第9回

太田 信宏

1. ブロードバンドの種類

broadband (広帯域、広周波数帯域)

→ 高速通信・常時接続を表すことば

A D S L (Asymmetric Digital Subscriber Line) 非対称デジタル加入者線
8 ~ 50 Mbps 月額 約3,500円 (現在もっとも普及)

C A T V (Cable Television) ケーブルテレビ会社が運営
8 ~ 30Mbps 月額 約5,000円

F T T H (Fiber to the Home) 光ファイバーを利用したブロードバンド
最大100Mbpsを複数ユーザで分割 月額 5,000 ~ 8,000円

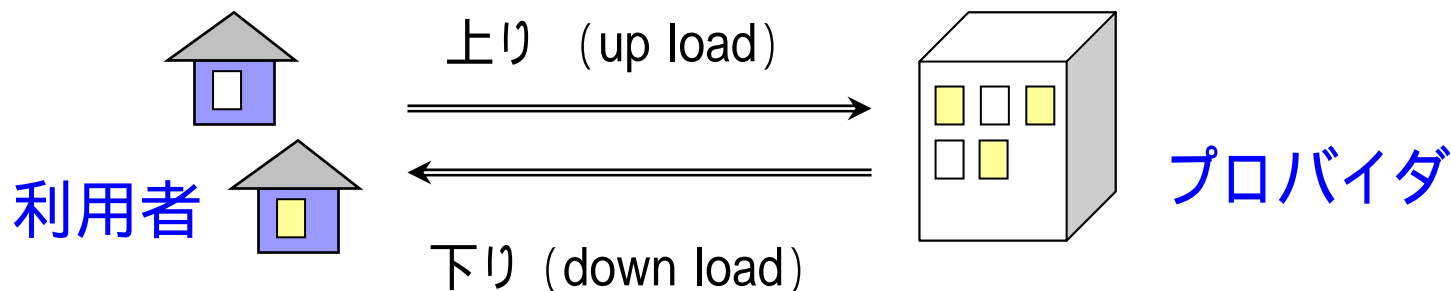
(参考) ナローバンドとの速度比較

電話回線→56kbps ISDN→64kbps FOMA→384kbps

単位 : 1Mbps (メガ) = 1,000kbps (キロ)

2. ADSLの特徴

非対称 (Asymmetric) → 上りと下りの速度が異なるという意味



たとえば 上りは、 1Mbps
下りは、 8Mbps (実質2~3Mbpsくらい **ベストエフォート**)

[上り] メールの送信、ホームページの発信など。

[下り] メールの受信、ホームページを見る、音楽を聴く、
映像を見る、ファイルやソフトをダウンロードする…。

多くのユーザーにとっては、圧倒的に「**下り**」の利用が多い。

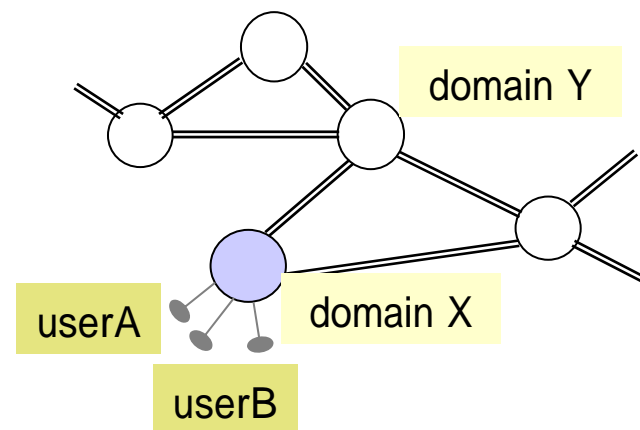
3. 電子メールとアドレス e-mail (electronic mail)

メールアドレスの形式は世界共通

a7c31xxx@shonan.bunkyo.ac.jp

ユーザID

ドメイン名



ユーザID : 個人を識別するもの(氏名に当たる)

ドメイン内にある、ユーザ名称はすべて異なる

ドメイン名 : 所属するネットワークを表す(住所に当たる)

→ IPアドレスを文字に置き換えたもの

→ 同一のドメイン名称が2つ存在することはない

文教大学 → ドメイン名 www.bunkyo.ac.jp

→ IPアドレス 210. 188. 184. 253

4. ドメイン名の形式

shonan . bunkyo . ac . jp

① 第1ドメイン (TLD: top level domain)

主な国別コード
(Country Code)

jp 日本	fr フランス	uk イギリス
ca カナダ	kr 韓国	it イタリア

主な一般TLD

com 一般企業	net ネットワーク関連	org その他組織
info 一般用	biz ビジネス	aero 航空業界

② 第2ドメイン

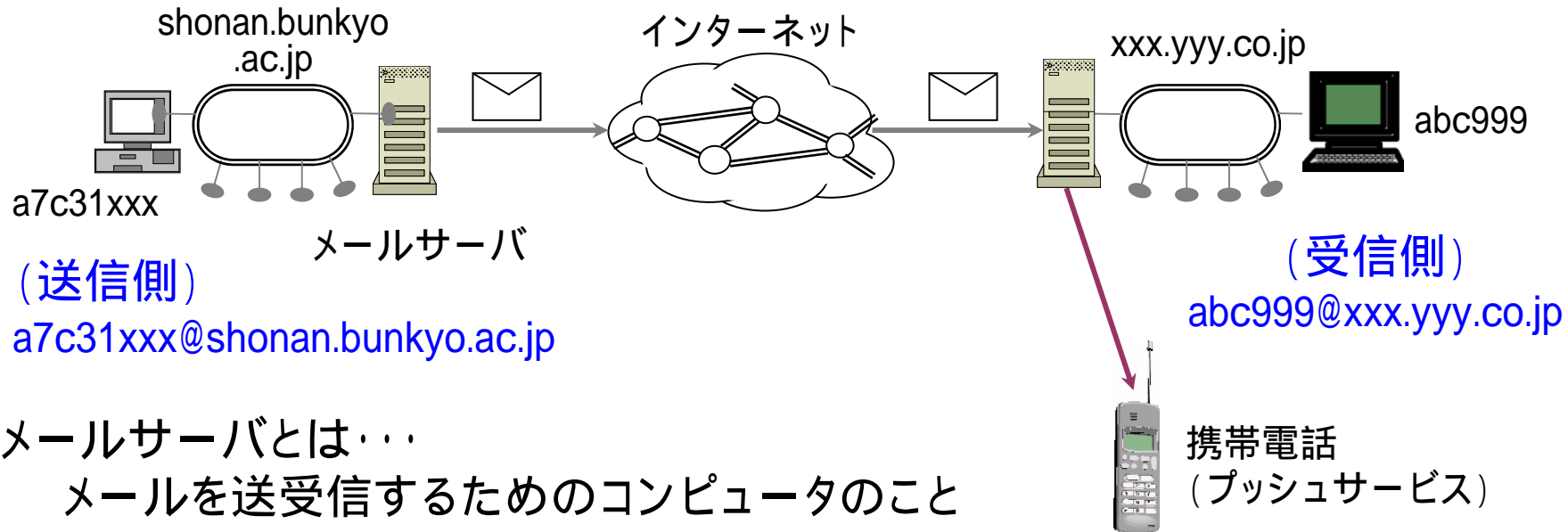
属性・地域など

ac 教育機関 (academy)	go 政府機関 (government)	co 一般企業 (commerce)
or その他組織 (organization)	ad/ne ネットワーク管理組織 (administrator/network)	

※第3ドメインや汎用ドメイン(〇〇〇.jp)は、利用者が決めることができる

([一覧リスト](http://www.iana.org/cctld/cctld-whois.htm)) <http://www.iana.org/cctld/cctld-whois.htm>

5. 電子メールのしくみ - 1 -



メールサーバとは・・・
メールを送受信するためのコンピュータのこと

パソコンのメール受信 → 新着メールが届いているかどうかの確認が必要
(pull型)

携帯電話のメール受信 → プロバイダが携帯電話本体へ直接メールを配信
(push型)

6. 電子メールのしくみ -2-

TO(宛先)	<input type="text"/>	メールの本文 (署名)
CC	<input type="text"/>	
BCC	<input type="text"/>	
Sub(件名)	<input type="text"/>	

TO(宛先) 送信先のメールアドレスを入れる
カンマで区切れば、複数指定可 (同報メール)

aaa@xxx.co.jp , bbb@yyy.ne.jp , ccc@zzz.com , ...

CC(Carbon Copy) 本来の宛先以外に、送信したい場合のアドレス

BCC(Blind CC) および の相手に見えないように、送信できる
(ここに入れたアドレスは、受信メールに表示されない)

私 (営業部)

文教花子



TO

部長

CC

営業課長, 総務課長

BCC

Xさん, Yさん

受け取った人は、
それぞれどう見える？

7. メールの利用とネチケット -1-

(network-etiquette)

(1) テキストメールとHTMLメール

テキストメール = 文字だけのメール

HTMLメール = 色、飾り、画像などが入ったメール。見栄えはよいが・・・

- ・ファイルサイズが大きくなる(受信費用の問題)
- ・受信者のメールソフトが対応していないと開けない
- ・ウィルスメールの危険性が高い

利用には、十分な配慮が必要(初対面の人に送るのは失礼)

(2) 添付ファイル(同封ファイル)

- ・ファイルサイズに注意

相手がブロードバンド利用者でなければ、100KBくらいまでが適当

- ・ファイルの種類(文書データ、画像データ、映像データ・・・)に注意

そのデータを開くためのソフトを、受信者は持っているか

- ・ビジネス上のやり取りでは、圧縮して送るのがマナー

8. メールの利用とネチケット -2-

(3) 簡潔なタイトルと文章に (内容がわかるようなタイトルをつける)

例: 委員会開催のお知らせメール

Sub: 連絡です

Sub: 委員会のお知らせです

「好ましくないタイトルの例」

Sub: 連絡です

Sub: 教えてください

Sub: おはようございます

Sub: × × 委員会開催のお知らせ(月 日 時)

(4) BCCの上手な利用

- ・大勢の人に送る必要があるとき(招待状、引越案内など)
受信者のアドレスは、まとめてBCCに入れる
- ・メールの控えを取っておきたいとき
自分のアドレスをBCCに入れておく